

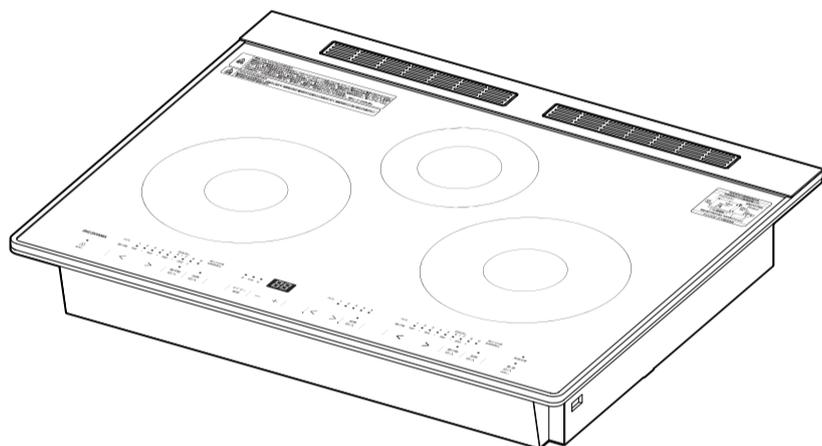
IRIS OHYAMA

室内・家庭用

# 設置説明書

## 200V3口ビルトイン IHクッキングヒーター

型番 IHC-B3201GL



### お客様へ

- この設置説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 設置される方へ

- 設置前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書にしたがって正しく設置してください。
- 設置終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この設置説明書はお客様にお渡しください。

## もくじ

安全上の注意 .....	2
付属品 .....	3
電気工事.....	3
製品外形寸法 .....	4
システムキッチンとの関係寸法 .....	5
設置場所の確認.....	6
設置方法.....	7
レンジフード連動の設定方法 .....	10
設置後の確認 .....	裏表紙

# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 施工設置は「設置説明書」にしたがい確実に  
行う  
設置に不備があると、火災・漏電・けがなどの原因になります。
- 電気配線工事は、関連する法令、規制等にしたがって、必ず「法的有資格者」が行う  
資格をお持ちでない方の工事は法律で禁じられています。
- アース工事は、関連する法令、規制等にしたがって、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う  
資格をお持ちでない方の工事は法律で禁じられています。
- アースを確実に取り付ける  
漏電時に感電する原因になります。
- 火災予防条例に基づき、可燃物との離隔距離を必ず守る  
距離が近いと火災の原因になります。
- 200V、30A以上の専用回路と、漏電遮断器を設置する  
配線部が異常発熱し、発火する原因になります。



- 絶対に分解・修理・改造をしない  
火災・感電・異常動作の原因になります。

## 設置について



- 電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、がたつきのないよう根元まで確実に差し込む  
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、火災や感電の原因になります。



- 電源・電線およびアース線は、電源プラグをはずして直結しない  
漏電やショートによる感電・発火の原因になります。
- 電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない



## 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 製品近傍のシステムキッチンの材料は、95℃以上に耐えるものを使う  
システムキッチンの変色・変形の原因になります。



- トッププレートに衝撃を加えない
- 上に乗ったり、物を落とさない  
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
- 試運転中はトッププレートなどの高温部に触れない  
やけどの原因になります。

## 設置場所について



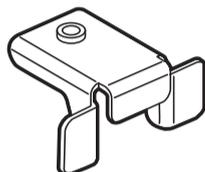
- 製品は水平に設置する  
製品が傾いていると、なべが滑り落ち、やけどやけがの原因になります。

## 付属品

下記の付属品の確認をしてください。

万一足りないものがある場合は、アイリスコール（表裏紙）へご連絡ください。

固定金具（左右・下）×2



蝶ボルト×2



※ 保証書、取扱説明書があることを確認してください。

## 電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

IHクッキングヒーターは、専用回路（1台のIHクッキングヒーターに1分岐回路）を設置してください。

### 専用回路、漏電しゃ断器の設置

● 専用回路、漏電しゃ断器を設置してください。

専用回路	漏電しゃ断器
ブレーカー付き単相 200V・30A	定格電流：30A 感度電流：15mA

※ 三相200V（動力電源）には接続しないでください。

### 屋内配線用電線、コンセントの形状

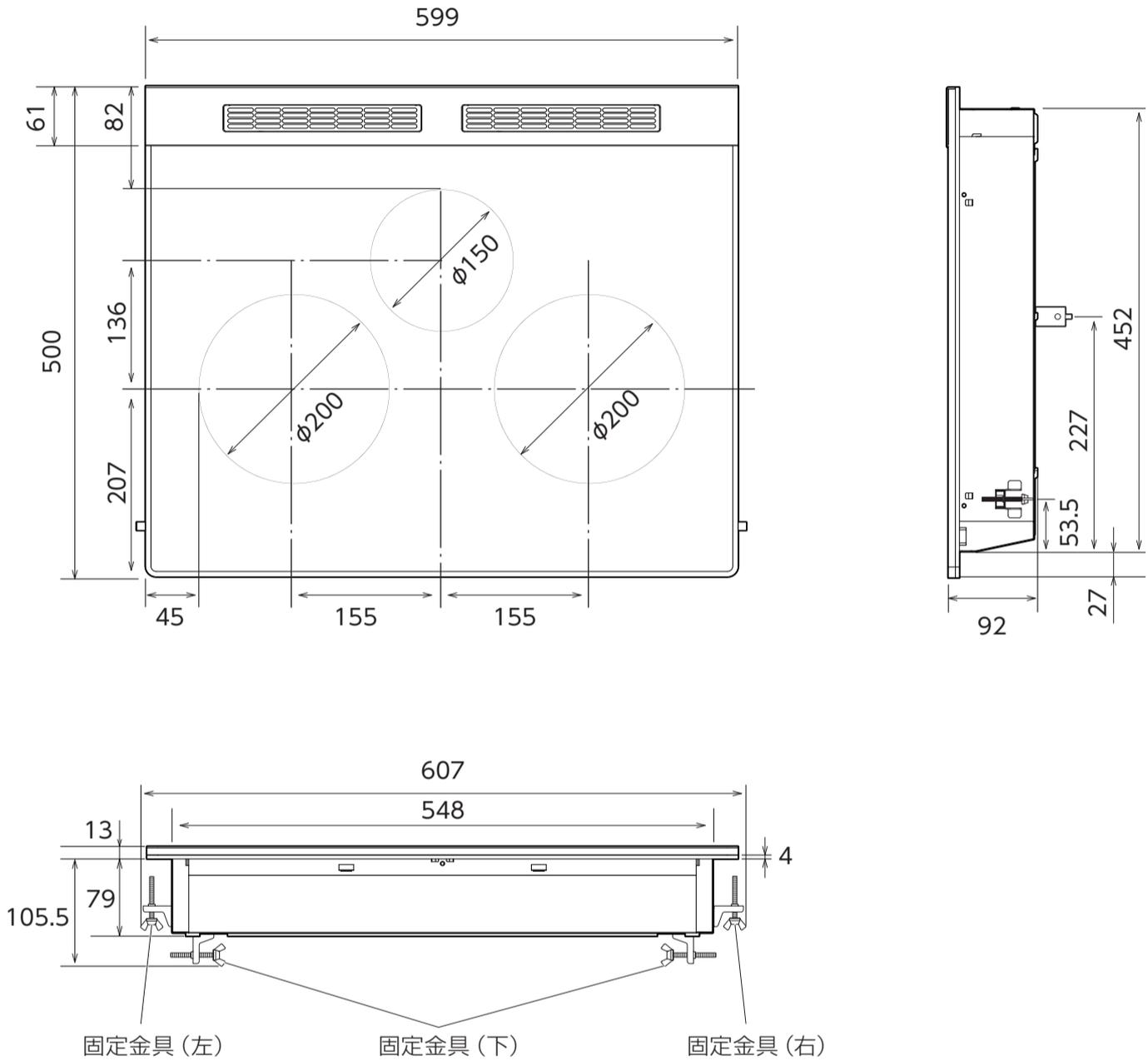
● IHクッキングヒーター用のコンセントは規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	幹線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	 単相200V用（接地極付） 250V-30A

※ D種接地工事（100Ω以下）を必ず行ってください。

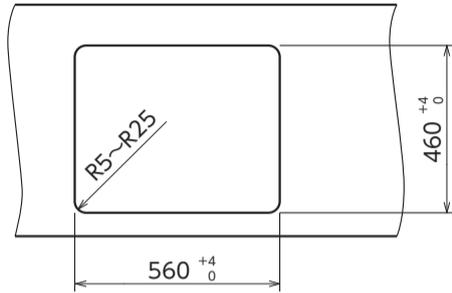
# 製品外形寸法

単位：mm

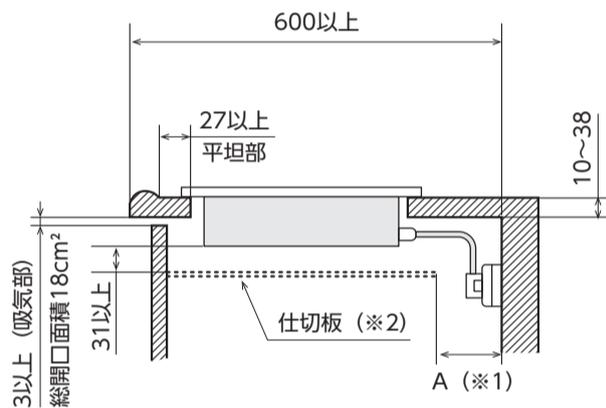


# システムキッチンとの関係寸法

## ■取り付け穴



## ■側面図

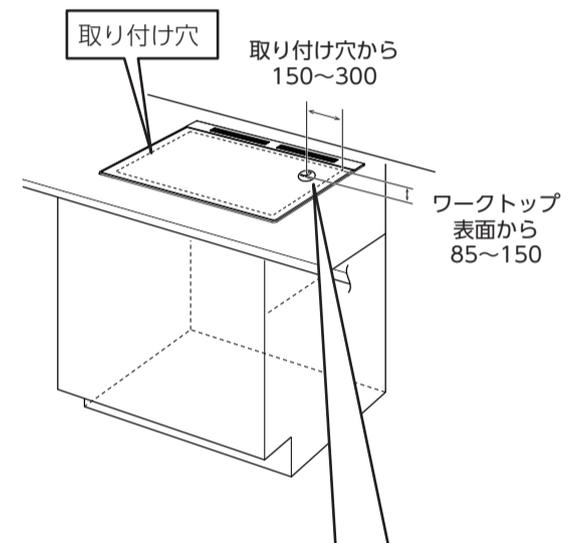


※1：パナソニック製の露出コンセント（WK36301B）を使う場合は、A寸法が80mm以上必要です。また、埋込型コンセントがある場合は、A寸法が35mm以上必要です。

※2：仕切板を取り付ける場合は、着脱式にしてください。（固定金具取付時に取り外すため）

## ■コンセントの種類・位置

※推奨コンセント：パナソニック製  
WK36301B（露出型）  
WF3630B（埋込型）



「コンセントの向き」

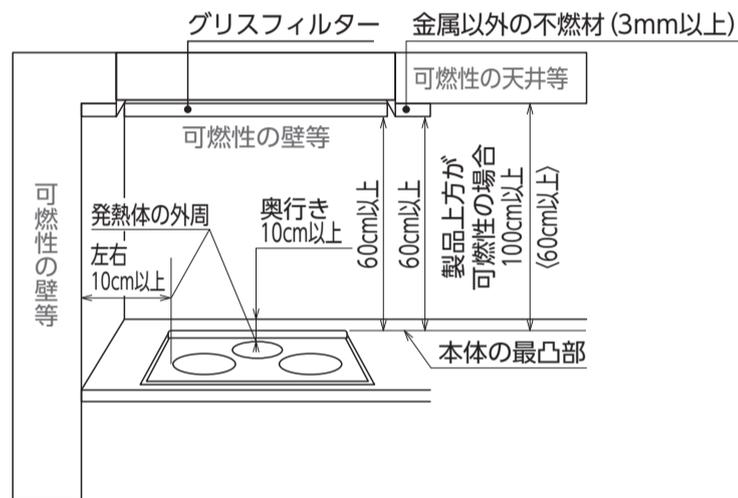
※コンセントの向きに注意してください。コードがキャビネットにあたります。

## 設置場所の確認

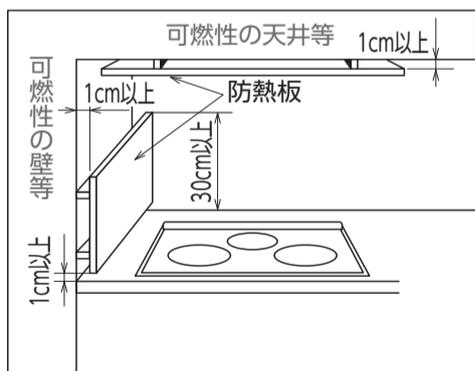
- 火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条にしたがって設置してください。
- カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板 (JIS K 6903) と同等以上の耐熱性があるものを使用してください。ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属 (メタルラスなど) とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています)
- ガス事業者への連絡をせずにガス工作物 (ガス配管、ガスメーター、ガス栓等) を無断で撤去することは、法令により規制されていますので、事前にガス事業者へ連絡してください。

このIHクッキングヒーターは「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物から図のように離して設置してください。

〈 〉 内は不燃材または防熱板を取り付けた場合  
 周囲の壁が不燃材の場合：本体外周から0cm以上



上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



[特定安全IH調理器適合品]

[消防法 基準適合 組込形]

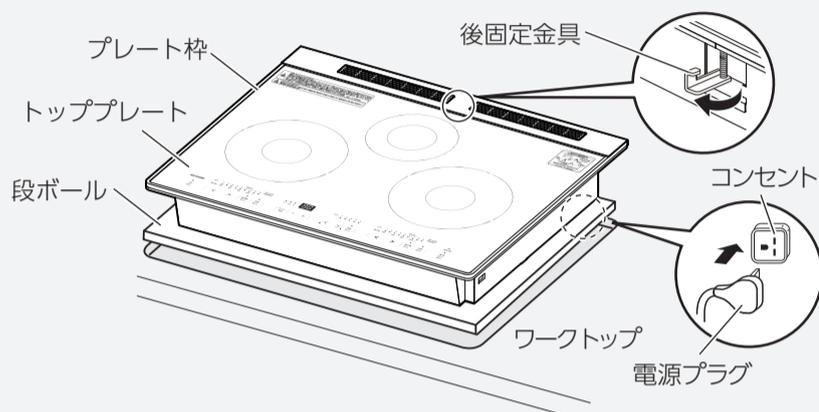
※ 防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の可燃物の温度が室温35℃のときに100℃を超えない断熱性を有すること。

※ 本体の後面に取り付ける場合も、側面と同じ距離を設けてください。

# 設置方法

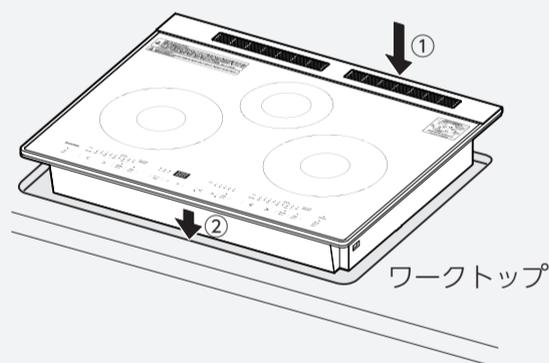
## 1 電源プラグを差し込む

- ワークトップに傷をつけないよう、段ボールを敷いてください。
- ワークトップに傷がつかないように、後固定金具（本体に取り付け済み）が本体背面に密着していることを確認してください。



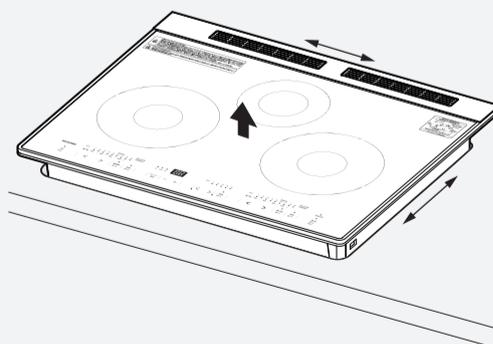
## 2 ワークトップにはめ込む

- ① 後ろ側をはめ込んでください。
  - ② 前側をゆっくりおろして、全体をはめ込んでください。
- ※ トッププレート下側のパッキンがめくれたり、はみ出したりしないように注意してください。
  - ※ トッププレートが浮き上がっていない（すき間がない）ことを確認してください。
  - ※ ワークトップのそりなどが原因ですき間ができる場合は、防水テープなどでふさいでください。



## 3 本体の位置を調整する

- 本体位置を調整する場合、本体を引きずらずに、持ち上げて位置を調整してください。持ち上げないで本体位置をずらすと、トッププレート下側のパッキンが、はみ出たり、破損したりします。



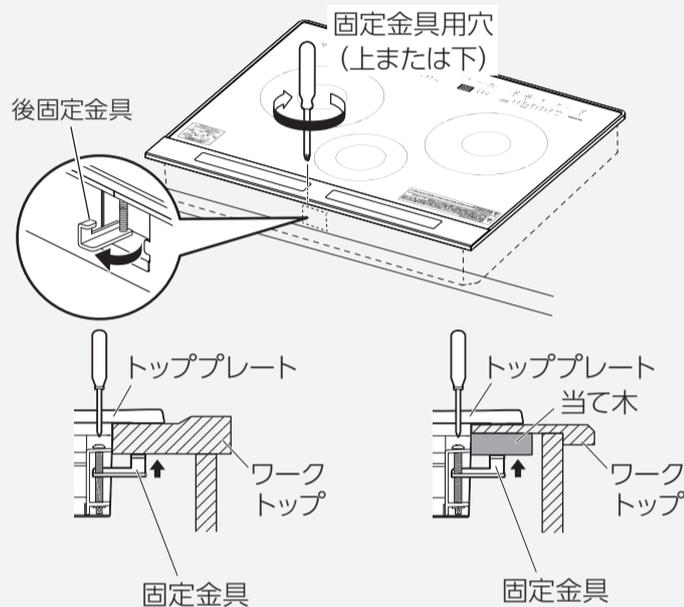
# 設置方法

## つづき

- ワークトップの厚みは10～38mmとし、10mm未満の場合は当て木を添えてください。

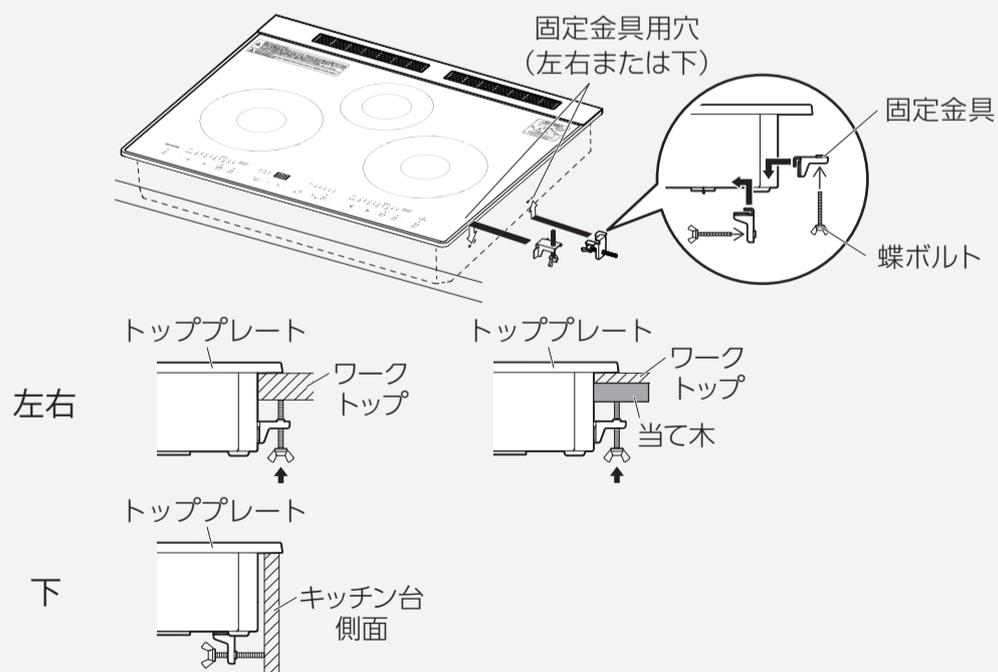
### 固定金具（後ろ）

- 排気カバーを外して、ドライバーを上から差し込み、ねじを締める方向に回して、固定金具が持ち上がって固定されるまで締めてください。
- ※ 固定金具は、本体にはめこむ時に邪魔にならないように、ストッパーがついています。ねじを締める方向に回すと、自然に出てきます。固定金具が出てこないときは、ねじをいったんゆるめてください。
- ※ 締め付けトルクは60～70N・cmにしてください。



### 4 固定金具（左右・下）

- 付属の金具を使用して固定します。
- ① 蝶ボルトを固定金具（左右・下）に軽くねじ込む
- ② 左右の固定金具用穴に、固定金具（左右・下）を取り付ける  
左右どちらかの固定金具穴で固定できないときは、下の固定金具穴に固定金具を取り付けて、キッチン台の側面で固定してください。
- ③ 蝶ボルトを締めて、固定する
- ※ 締め付けトルクは40～50N・cmにしてください。

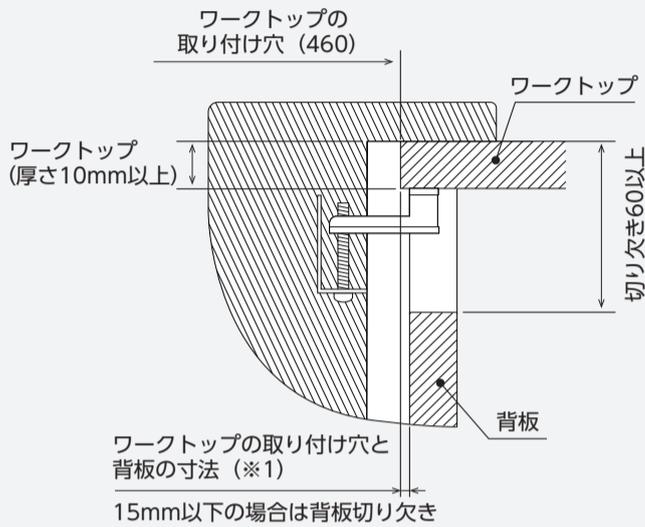


4

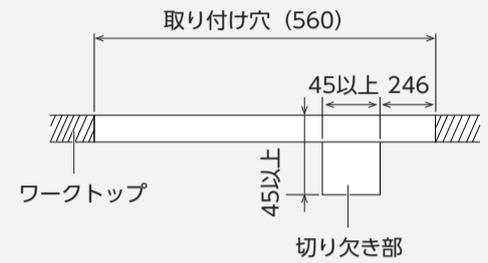
### ワークトップの後方に背板がある場合

- 背板位置がワークトップの取り付け穴から15mm以下（※1）の場合は、固定金具（後ろ）が通るように切り欠きを設けてください。

<側面図>



<正面図>



# レンジフード連動の設定方法

## 赤外線信号の切替

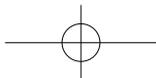


据付け完了後、電源が「入」の状態でお操作してください。

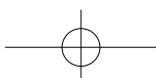
- ① タイマー操作部の **+** と右IHヒーター操作部の **>** を同時に（約3秒）押す
- ② タイマー表示部に「00」「01」「02」のいずれかの数字が表示される。
- ③ タイマー操作部の **+** もしくは **-** を押して、表示を切り替える  
**+**：数字が増える（00→01→02）  
**-**：数字が減る（02→01→00）  
 00：レンジフード連動解除  
 01：NECフォーマット（周波数38.0kHz）  
 02：家製協フォーマット（周波数36.7kHz）
- ④ 電源切/入ボタンを押して電源を切ると設定が完了します。

※ 出荷時は「01」に設定しています。

※ レンジフードの赤外線信号の仕様は、レンジフードの取扱説明書をご覧ください。



# MEMO



# 設置後の確認

■ 設置完了後、次の手順で確認し、チェック欄に✓印をしてください。

確認事項		チェック
梱包材などの取り外し 付属品などの取り付け	排気カバーの取り付け	
	取扱説明書、設置説明書を包装箱から取り出し、お客様にお渡しする	
電気工事	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	① ブレーカーを「入」にする ② 電源電圧が200Vであることを確認する ③ 電源プラグを接続し、電源スイッチを「入」にする。→電源ランプが点灯する	
	④ 各ヒーターの動作をチェックする <b>左ヒーターのチェック</b> ・ 水を入れた鉄系のなべをのせて操作パネルの左ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを押す → 火力表示ランプの左から4個目までが点灯し、加熱が開始される（確認後は「加熱 切/入」ボタンを押して「切」の状態にしてください。） ※ IHヒーターは、トッププレートの加熱部に鉄系のなべがのせられている場合しか加熱されません。火力表示が点滅の場合は、なべがのせられていないか、鉄系以外のなべのため通電されていない状態を示しています。	
	<b>右ヒーターのチェック</b> ・ 左ヒーターと同様の手順で、操作パネルの右ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを操作して確認する	
	<b>中央ヒーターのチェック</b> ・ 水を入れた鉄系のなべをのせて操作パネルの中央ヒーターの「加熱 切/入」ボタンを押す → 火力表示ランプの左から2個目までが点灯し、加熱が開始される（確認後は「加熱 切/入」ボタンを押して「切」の状態にしてください。）	

■ レンジフード(換気扇)との連動を確認してください。

IHクッキングヒーターの操作にあわせて、レンジフードが運転します。

確認事項	チェック
<b>レンジフードの動作確認をする</b> 上記電気試験の①～④を行う。加熱開始とともにレンジフードが運転する。	
レンジフードの停止確認を行う。「加熱 切/入」ボタンを押して加熱停止にあわせてレンジフードが一定時間作動した後に停止する。(レンジフード設定による)	
確認が終わったら電源切/入ボタンを押して、電源を切る。	

確認年月日	年 月 日	取付・設置完了確認者	印
-------	-------	------------	---

■ 確認後は

必ず電源を切ってください。

通電により本体が熱くなりますので、完全に冷めるまで手を触れないでください。

**アイリスオーヤマ株式会社** 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号  
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

**アイリスコール 0120-311-564**

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモをご用意をお願いします。

**お客様サポート**  
24時間365日  
Web即時回答サービス

